

□要請番号 (SL51523C01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G158 理科教育		個別	交替 4代目	2年	・2024/1・2024/2・ 2024/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

アフリカ理数科・技術教育センター

3) 任地（ナイロビ郡ナイロビ）JICA事務所の所在地（ナイロビ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩で約0.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はケニア国内の初等・中等学校の現職理数科教員のための研修施設であり、職員はケニアの理数科教育発展に尽力している。またアフリカ理数科教育域内連携ネットワーク(SMASE-AFRICA)の拠点として、アフリカ諸国の理数科教員研修の講師養成も行っている。JICAは配属先とともに、2013年まで15年間初等・中等理数科教育分野の技術協力プロジェクトを実施した。JICA海外協力隊はこれまでに3名のシニア海外ボランティアが活躍した。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国の理科教育は板書での授業が多いため、同センターでは「実験工房」を創設し、展示する実験教材の充実・多様化、教科書に紹介されている実験の再現、訪問者への実験紹介・実際のパフォーマンスを行っている。過去の隊員が紹介した、実際に「見て・触れて・試すことのできる実験工房」は、「訪問する子どもたち、研修参加教員の科学への興味を更に引き出す」と高く評価されており、工房を「科学館」のような施設とするこどもと指している。しかし実験を行う研修講師の育成が不十分で、また共同で取り組む実験教材の開発は依然として課題である。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

訪問する子どもたち、教員の科学への興味を引き出し、同僚や研修参加者の研修・授業への活用の促進のために、以下の活動を行う。

- 同僚とともに、展示されている実験・実習・観察教材や視覚教材の充実を図る。
- 同僚とともに、展示教材のマニュアルや説明の充実を図る。
- 実験工房の訪問者に対して実験パフォーマンスや説明を行う。
- サイエンスイベントを企画し、実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

初等・中等学校で使用される理科実験器具(顕微鏡、滴定実験用器具一式、波動実験器、バンデグラーフ起電機等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先の同僚:配属先長(男性、50代)、物理・化学・生物・数学・ICT担当講師約45名と実験助手3名、その他事務職員や食堂・車両・環境整備等の労務スタッフ、合計約100名

活動対象者:施設で研修を受講する理数科教員、社会科見学で施設訪問する初等・中等学校の生徒

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（中学校又は高等学校教諭（理科））

[学歴]：（修士） 備考：同僚と同等の学歴が必要

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（教員経験）15年以上 備考：同僚や研修での助言が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（西岸海洋性気候） 気温：（10～25°C位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.